

症 例 短 報

急性シロシビン中毒によるセロトニン症候群を呈したキノコ中毒の3症例

鈴木 景子¹⁾, 荒木 真²⁾, 伊藤 裕司¹⁾, 松山 有隆¹⁾
佐藤 泰吾¹⁾, 谷内 法秀³⁾¹⁾ 諏訪中央病院 内科総合診療部²⁾ 同腎透析・糖尿病科 ³⁾ 同消化器科

原稿受付日 2015年5月25日, 原稿受領日 2015年11月16日

はじめに

近年わが国では山歩きを趣味とする人が増えており、キノコや山菜採りも身近なレジャーとなりつつある。しかし、自生する植物のなかには、経験豊富な者でも見分けがつかないような天然の中毒物質を有するものも多く、法律で規制されている植物もある。現状は、経験の浅い層に自然毒に対する警告や啓発が行き届いているとはいえない状況であり、自然毒による食中毒は今後も増えることが懸念される。今回われわれは、食用キノコと誤認して採取したシビレタケを摂取したことで、急性シロシビン中毒によるセロトニン症候群を呈した一家3人の症例を経験したので報告する。

I 症 例

症例は長野県に住む一家3人。70代男性、妻である70代女性、息子である40代男性。

某日、70代男性が採取してきたキノコを電子レンジで加熱して夕食時に3人とも摂取した。男性はキノコ栽培の趣味があり、以前栽培していた食用キノコと誤認して採取したとのことであった。キノコ食後約1時間以内で幻覚・嘔吐などの症状が出現し救急要請、受診となった。

1. 症例 1

患 者：70代男性。

既往歴：脳出血，前立腺肥大症（シロドシン内服中）。

来院時現症：血圧 188/87 mmHg，脈拍 97 回/min，体温 37.8℃。意識レベル GCS E4V3M5，瞳孔径 7 mm/7 mm，直接対光反射（なし/なし）。腸蠕動音亢進，四肢クローヌス出現，幻覚あり，つじつまの合わない発言あり。

検査所見：特記事項なし。

治療経過：来院時興奮状態であった。活性炭投与，ジアゼパム，ハロペリドール静脈注射。加療開始数時間で回復した。

2. 症例 2

患 者：70代女性。

既往歴：高血圧症。

来院時現症：血圧 200/106 mmHg，脈拍 76 回/min，体温 36.4℃。意識レベル GCS E4V5M6，瞳孔径 7 mm/7 mm，直接対光反射（なし/なし）。嘔吐頻回。

検査所見：特記事項なし。

治療経過：補液開始し，加療開始数時間で回復した。

3. 症例 3

患 者：40代男性。

既往歴：統合失調症（オランザピン内服中）。

来院時現症：血圧 130/89 mmHg，脈拍 83 回/min，体温 36.5℃。意識レベル GCS E4V5M6，瞳孔径



Fig. 1 Mushroom they ate, found by public health and welfare office

7 mm/7 mm, 直接対光反射(なし/なし)。嘔吐あり, 幻覚あり(受診時にはなし)。

検査所見: 特記事項なし。

治療経過: 補液開始し, 加療開始数時間で回復した。

保健所が自宅に残っていたキノコを回収調査した結果, シロシビンが検出され, シビレタケであると判明した(Fig. 1)。シビレタケにはシロシビンが含まれており, 今回の症状はシロシビンによるセロトニン症候群と診断した。

II 考 察

今回われわれは, 激しい中枢神経作用を呈したキノコ中毒の一家3人の症例を経験した。

わが国に自生する毒キノコは約30種類といわれ¹⁾, キノコによる食中毒の大部分(約7割)は, 嘔吐・下痢・腹痛などの消化器系作用のみを起こす¹⁾。しかし, 本症例のシビレタケをはじめ, テングタケ, ベニテングタケ, ワライタケなどのように, せん妄・幻覚などの中枢神経作用を呈するものもある¹⁾。

シビレタケの中毒物質はシロシビンであることが特定されている。シロシビンはインドールを基本骨格にもつアルカロイドである²⁾。その構造はセロトニンに類似しており, 5-HT受容体を介して中枢神経に作用し, 幻覚をもたらす。古くから magic mushroom として, シャーマンが神託を得るために食していたことでも知られている²⁾。シビレタケの

過剰摂取は, セロトニン中毒, いわゆるセロトニン症候群を起こすことが知られている³⁾。ヒトでの中毒量はシロシビン5~10 mgとされているが, その吸収率・摂取許容量・体内動態などは不明である⁴⁾。加熱しても失活しないこともその特徴の1つである⁵⁾。

セロトニン症候群とは, 交感神経賦活症状に精神状態変化や幻覚などの中枢神経症状を伴い⁶⁾, 瞳孔散大, 発汗, 興奮, 頻脈, クローヌス出現, 高血圧, 振戦, 消化管運動亢進などの症状を呈する⁶⁾。一般的にはうつ病で使用される選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)やセロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(SNRI)の薬剤過量摂取後に起こる症候群として知られる。シビレタケによるセロトニン症候群は, 摂食後30分~3時間以内に, めまい, 嘔気嘔吐, 悪寒や不穏などの症状で発症すると報告されている³⁾。治療としては, 特異的なものはない。摂取直後であれば吸収阻害のための活性炭も考慮され得る。興奮に対してはジアゼパム, 幻視に関してはセロトニン-ドパミン拮抗薬であるリスペリドンが使用される³⁾。シビレタケによるセロトニン症候群は4~12時間のうちに自然回復すると報告されているが³⁾⁴⁾, なかには因果関係不明ながら, 急性冠症候群などを引き起こしたとされる例も報告されている⁷⁾。

本症例では, 一家が食後に同症状を呈しており, 食中毒の診断に至ることは比較的容易であった。しかし, 現病歴の聴取が難しい場合や1人でキノコを摂取した場合は, 正しい診断に至るのが難しいと考えられる。一方, 急性シロシビン中毒の孤発例の報告はあるが, 家族発症の報告は決して多くない。

一家3人のうち, 症状が一番軽かったのは息子であったが, オランザピンを内服していた。オランザピンはセロトニン受容体とも結合し, オランザピンの中止によりセロトニン症候群が生じた例も報告されている⁸⁾。したがって, 息子の症状が重症化せずにすんだ一因は, オランザピン内服によるセロトニン受容体の拮抗作用による可能性が考えられた。

キノコ中毒は全国で年間42~79件⁹⁾報告されている。そのうち, シビレタケによる中毒は1件/年

程度と比較的まれであるが, 毎年のように, 途絶えることなく報告されている¹⁾。発生は山歩きのシーズンである7~11月に集中していること, 発生場所は家庭が82%と最多である¹⁰⁾ことから, 誤認による毒キノコの摂取を防ぐための啓発活動が重要と考えられた。

結 語

誤認による幻覚性キノコの食用によって急性シロシビン中毒によるセロトニン症候群を呈した一家3人の症例を経験した。自然毒による食中毒でも本例のように中枢神経症状など生死にかかわる症状を引き起こすことがある。健康志向による中高年の登山ブームが続く現在, 自然毒による事故をなくすため, パンフレット, ホームページ, イベントなどを通じ繰り返し啓発活動を行うことで, さらなる知識の普及が求められる。

[利益相反]

症例発表に関連し, 開示すべきCOI関係にある企業などはない。

【文 献】

- 1) 自然毒のリスクプロファイル.
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/index.html> (参照: 2015年2月1日)
- 2) Stafford P: Psilocybin Mushrooms. In: Stafford P ed. *Psychedelics Encyclopedia*. 3rd ed, Ronin Publishing, Berkeley, 1992, pp225-79.
- 3) 上條吉人: 幻覚性キノコ, マジックマッシュルーム(シロシビン, シロシン). イラスト&チャートでみる急性中毒診療ハンドブック, 医学書院, 東京, 2005, pp278-83.
- 4) 食品安全総合情報システム.
<http://www.fsc.go.jp/fscis/survey/show/cho20110080001> (参照: 2015年2月2日)
- 5) シロシビン群きのこ.
<http://www.j-poison-ic.or.jp/ippan/M70306.pdf> (参照: 2015年2月2日)
- 6) Boyer EW, Shannon M: The serotonin syndrome. *N Engl J Med* 2005; 352: 1112-20.
- 7) Borowiak KS, Ciechanowski K, Waloszczyk P: Psilocybin mushroom (*Psilocybe semilanceata*) intoxication with myocardial infarction. *J Toxicol Clin Toxicol* 1998; 36: 47-9.
- 8) 田中治: 抗精神病薬オランザピン中止により出現したセロトニン症候群の一例. *大館市立総合病院業績集* 2006; 16: 4-5.
- 9) 東京都福祉保健局: キノコ食中毒.
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/kinoko/tyudoku.html> (参照: 2015年2月2日)
- 10) 長野県内におけるきのこ中毒発生状況.
<http://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/kenko/shokuhin/shokuchudoku/documents/26kinoko.pdf> (参照: 2015年2月2日)